

施策体系

政策名(基本方針)	3	教育の健康	施策名	11	生涯スポーツの推進
-----------	---	-------	-----	----	-----------

施策統括部	教育部	関係課
施策主管課	生涯学習課	

1 施策の目的と指標

対象	市民	意図	生涯にわたって目標・目的を持って、スポーツを行っている
----	----	----	-----------------------------

成果指標

名称		単位
A	目標・目的を持ってスポーツを行っている人の割合[市民アンケート]	%
B		
C		
D		

2 指標等の推移

成果指標	26年度現状値	数値区分	28年度	29年度	30年度	31年度	評価	背景として考えられること	
A	%	34.4	成り行き値	34.5	34.7	34.9	35.1	△	前年度に引き続きH29年度は、体育施設の地震復旧工事となり、総合体育館や西合志体育館が長期間利用できなかったため、スポーツに親しむ市民が減少したものと考えられる。
			目標値	35.0	37.0	39.0	41.0		
			実績値	35.6	32.8				
B			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
C			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						

※【評価】 ○:目標達成 △:目標をほぼ達成(-5%) ×:目標を未達成

事務事業数・コスト			28年度	29年度	30年度	31年度
事務事業数		本数	9	9		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	
		都道府県支出金	千円	90	86	
		地方債	千円	0	59,000	
		その他	千円	20,196	40,140	
		繰入金	千円	0	0	
		一般財源	千円	42,941	37,203	
	事業費計 (A)		千円	63,227	136,429	
(A)のうち指定経費		千円	1,746	1,711		
(A)のうち時間外、特殊勤務手当		千円	757	663		
人件費	延べ業務時間		時間	5,953	6,945	
	人件費計 (B)		千円	22,246	27,474	
トータルコスト(A)+(B)		千円	85,473	163,903	0	0

3 施策の特性・状況変化・住民意見等

【1】施策の方針

- ・身近な所で、誰でも気軽にスポーツに取り組める環境を整備します。
- ・ラジオ体操の普及により、健康増進や体力向上等、スポーツに取り組みやすい環境づくりを促進します。

【2】協働によるまちづくりの具体策(市民と行政の役割分担)

ア) 住民(事業所、地域、団体)の役割

- ・市民は、区の行事計画に併せ、スポーツ大会、レクリエーション大会をコーディネートできる体育部長等の地域リーダーを育成する体制づくりを行います。

イ) 行政の役割(市がやるべきこと)

- ・市は、各地域で企画立案する際のアドバイザー的活動が出来るよう職員及びスポーツ推進委員の活用を行います。

【3】成果指標の目標設定とその根拠(上段)・成果指標の測定企画(下段)

A	目標・目的を持ってスポーツを行っている人の割合の成り行き値は、アンケート結果の推移から微増すると考え平成31年度を35.1%と設定しました。目標値は、市民の健康づくり事業の推進に伴い、平成27年度から各地域において、ラジオ体操の普及に努めており、平成28年度以降には、徐々に健康志向の高まりによりスポーツに取り組む市民の割合の増加が期待できるとして平成31年度は41.0%に設定しました。
B	
C	

【4】施策の現状と今後の状況変化

・目標、目的を持ってスポーツに取り組んでいる市民の割合は、全体的には、スポーツ人口は伸びているものの人口増加率に比べ少ないため、数値としては現れていません。

【5】この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか？

(平成29年度(平成28年度振り返り)の施策評価における議会意見)

- ・サイクリングロード・ウォーキングロードの整備に取り組むこと
- ・小学校部活動の社会体育移行に合わせ、社会体育を充実させること

(平成29年度(平成28年度振り返り)の施策評価における総合政策審議会意見)

- ・スポーツにふれあえる機会を提供すること
- ・社会体育の推進のための環境整備を図ること

4 施策の評価

【1】 施策の振り返り(施策の方針、経営方針の達成度等)

※ 経営方針からの振り返り、貢献度評価の上位の事務事業を記載

(1)平成29年度の経営方針(平成27年度評価を踏まえた取り組み方針)からの振り返りは、以下のとおり。

- 1.「ラジオ体操やグラウンドゴルフ等市民が参加しやすいスポーツの普及促進と健康づくりを進める。」については、6月にニュースポーツ体験会、10月にスポーツフェスティバル(各区分対抗ビーチボールバレー&ペタンク大会)、1月に市民健康カントリーマラソン大会、3月にノルディックウォーキング大会を開催し、スポーツの普及促進と市民の健康づくりに努めた。
- 2.「地震災害による泉ヶ丘体育館、武道館の早期復旧を図り、安全で利用しやすい施設とするために計画的な施設の改修に努める。」については、泉ヶ丘体育館、武道館及び総合体育館、西合志体育館の復旧工事を年度内に完了した。今後も計画的な施設改修に努めていく。
- 3.「小学校運動部活動の社会体育移行に向けた環境整備を推進するとともに、総合型地域スポーツクラブの充実を図る。」については、小学校運動部活動環境整備検討委員会を4回開催し、H31年度の社会体育移行に向け、指導者人材バンク及びサポーターバンクを設け、募集を行なった。また、総合型地域スポーツクラブについては、クラブこうしがH29年度よりビジター制度を導入し参加しやすくなった。

(2)事務事業貢献度評価の結果では、平成29年度施策の成果を向上させるために最も貢献した事務事業として、スポーツ体験教室開催事業があげられ、貢献した事業としてスポーツイベント開催事業があげられた。

【2】施策の課題

- ・市民ニーズにあったスポーツやレクリエーションに参加できる機会の提供が必要です。
- ・地域の普及促進を行うスポーツ推進員の養成が必要です。
- ・老朽施設の計画的な改修が必要です。(安心安全に使用できる施設の整備)

5 施策の29年度結果に対する審査結果

① 政策推進本部での指摘事項(施策目標達成度評価結果報告を受けて・・・平成30年7月19日)

- ①小学校部活動の社会体育への移行を進める。
- ②健康づくりのための生涯スポーツ施設の再構築を検討する。
- ③生涯スポーツ団体の活動を活性化させ、より市民が参加しやすい環境整備が必要。

② 総合政策審議会での指摘事項(平成30年8月2日、9日、27日まとめ)

- ①民間施設の利活用を促進し、スポーツしやすい環境づくりに努めること
- ②市民誰もが体を動かす機会として「ラジオ体操」の推進を行うこと
- ③高齢者が参加しやすいようシニア世代向けニュースポーツの推進を行うこと
- ④部活動の社会体育移行に向け、指導者の掘り起こしを行うこと

③ 議会の行政評価における指摘事項(平成30年9月14日)

- ①小学校の社会体育と体育協会の連携を図ること
- ②ウォーキングや体操等で健康増進を図ること
- ③健康寿命を考慮した高齢者向けスポーツメニューの開発に努めること

6 次年度に向けた取り組み方針

● 政策推進本部 平成31年度合志市経営方針(平成30年10月9日)

- ①健康づくりを目的とした社会体育を推進する。
- ②高齢者をはじめ、市民誰もが参加しやすいスポーツの普及促進を進める。
- ③小学校部活動の社会体育移行後のフォローアップを行うとともに、総合型地域スポーツクラブをはじめとするスポーツ団体との連携を図る。
- ④スポーツ施設の安全安心な維持管理と効率的な環境整備を図る。